

## 派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	タイ
オンライン留学先大学	シーナカリンウィロート大学
プログラム開始日	2020年8月10日
プログラム終了日	2020年12月15日
今回の留学にかかった費用	特になし
留学の目的とその達成度合	語学力の向上とタイ語で歴史や経済等を学ぶため。☑ オンラインでのみ開講している授業は限られていたため、授業の選択には制限があった。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	授業の中でオンラインでビデオ会議をするといった経験ができたのは、役に立ったと思う。
留学先大学への支払い方法	-
履修した科目	仏教経済、Japanese interpretation、効果的なタイ語コミュニケーション方法
授業内容	仏教経済はFacebookを通して授業が配信され、Japanese InterpretationはGoogle Meetで授業、効果的なタイ語コミュニケーションはzoomでの授業。
授業の開講時間および現地時間との時差	一つの授業はおよそ3時間で、時差は2時間程度。
外大の授業との両立について	外大の授業は履修せず。
授業内容やプログラム全体に対する感想	授業内容はどれも課題が多く、ついていくのは正直大変だった。オンラインだったのでタイ人の学生に直接交流したりすることができなかったが、課題を通してオンラインで会話をする機会があり、コミュニケーションの機会を持つことができた。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10)	8
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	最初は現地の国際課との連絡がうまくいかず、履修登録が期間が来ても出来ていない状態になったり、PC等の機器の接続がうまくいかないこともありました。留学課や現地の先生や学生と積極的に連絡をとれば、親切に手伝ってくれるので、有意義なオンライン留学になるよう頑張ってください。

## 派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	タイ
オンライン留学先大学	シーナカリンウィロート大学
プログラム開始日	2020年8月10日
プログラム終了日	2021年2月10日
今回の留学にかかった費用	0円（自宅のWi-Fiを強化した程度）
留学の目的とその達成度合	<p>目的☑</p> <p>①タイ語力強化☑</p> <p>②異文化との交流☑</p> <p>☑</p> <p>達成度合☑</p> <p>70%</p>
留学を通して得たもの（スキル、経験）	<p>タイ語以上に、オンラインでもどうにかする力が身についた。☑</p> <p>ボディランゲージが使えないため、毅然とした態度で明確に意思表示する必要がある。</p>
留学先大学への支払い方法	-
履修した科目	<p>日タイ通訳☑</p> <p>仏教経済☑</p> <p>タイ語コミュニケーション</p>
授業内容	どれも講義が中心。日タイ通訳については、オンライン模擬会議など様々なアクティビティが用意されていた。
授業の開講時間および現地時間との時差	<p>例☑</p> <p>10:30~13:30☑</p> <p>15:00~18:00☑</p> <p>時差は2h</p>
外大の授業との両立について	外大の授業に重きをおいて、履修した。オンライン留学の授業はコマ数を抑え、理解を優先した。
授業内容やプログラム全体に対する感想	最初は全く授業についていけなかったが、次第に慣れてくる。得られる学びは自分がどれだけ主体的に臨むかによると思う。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	6
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	-

## 派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	タイ
オンライン留学先大学	シーナカリンウィロート大学
プログラム開始日	2020年8月10日
プログラム終了日	2020年5月19日
今回の留学にかかった費用	0
留学の目的とその達成度合	タイの学生と交流し、タイ語だけでなく現地の考え方や生活、価値観について学ぶことです。オンラインになってしまったので9割方意義は失われてしまったのではないかと思います。それでも現地の先生や学生のおかげで授業外にも交流の機会があり、オンラインでも留学をしてよかったと思います。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	一般的なタイ語の能力、オンラインというコンテキストに特化したタイ語力、及び異なる文化圏の人と協業する力
留学先大学への支払い方法	その他
履修した科目	JAPANESE INTERPRETATION☑ JAPANESE FOR TOURISM☑ BUDDHIST ECONOMY AND SUFFICIENT ECONOMY☑ CONTEMPORARY AND MODERN JAPANESE LITERATURE☑ JAPANESE TRANSLATION
授業内容	タイ語での講義に加え、日タイ日の翻訳や、文学や観光に特化した翻訳、通訳が内容の中心でした。しかし通訳や翻訳そのもののスキルというよりは、そのための日本の文学や観光の背景知識をタイ語で学ぶという内容でした。またタイ経済についての授業は、日本語を使う機会はありませんでした。しかしこの授業は途中から先生がご病気ということで、リアルタイムの授業はあまり行われませんでした。
授業の開講時間および現地時間との時差	11:00-14:00、15:30-16:30（時差2h）
外大の授業との両立について	2020年度秋学期は外大の授業を7コマ、留学先の授業を3コマ、2021年度春学期は外大の授業を8コマ、留学先の授業を2コマ履修しました。留学先はオンライン授業の環境があまり整っていなかったようで、授業時間がかぶらないように履修はしましたが時間が変更になることが多く、外大の出席日数を確保するのが大変でした。
授業内容やプログラム全体に対する感想	内容自体は大変充実していました。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった
交流活動の具体的内容	日本の文学や観光についてのテーマの授業をとっていたので、日本の実態を話すような機会が多くありました。また現地の学生の日本語を修正するのを手伝ったりもしていました。
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	7
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	会話の練習をしておくことだと思います。あとは現地の授業は3時間と長いので、集中力も必要です。
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	現地の生活を体験し生活の中の言語に触れることを強く望むなら、休学して現地へ留学した方が良いと思います。ただ授業内だけでも言語を使う機会はたくさんあるので、オンライン留学しか選択肢が無いという場合にも、留学する意義は十分にあると思います。